

試験が大幅に難化! 2級建築施工管理 技術検定

ストレート合格率(試算)
(学科試験合格率 × 実地試験合格率)

11.2%^{※1}

最終的に非常に低い合格率

※1) 上記合格率は当学院が独自で試算(学科試験合格率×実地試験合格率)したものです。

平成29年度
学科試験合格率 38.7%

平成28年度比 -13.2ポイント

平成29年度
実地試験合格率 28.9%^{※2}

平成28年度比 -10.0ポイント

※2) 合格基準:「得点が60%以上」から平成29年度は「得点が58%以上」に下方修正

平成29年度 実地試験について

平成29年度の実地試験は、1級建築施工管理技士や1級建築士の試験で出題されるようなハイレベルな問題や、出題傾向が変わった過去問だけでは対応できない出題など難易度の上昇が見られたことから、合格率は過去10年でもっとも低い数字となっています。

技術者不足の折、試験制度の見直しなど、国を挙げて技術者確

保への取り組みを推進してきましたが、平成29年度の試験結果を見る限り、それらの取り組みはただ単に「資格者を増やすため」のものではなく、「資格者として求められる知識、技能を持つ技術者を増やすため」の機会(チャンス)を拡げるものであり、実地試験を突破し、資格者となるためには、技術者として求められる高いレベルの知識をしっかりと身につけておく必要があります。

近年の実地試験では

過去問だけではカバーできない、最新の施工管理の情報や経験、社会的背景など技術者として必要不可欠な知識が試される

実地試験に合格するには、**学科試験範囲の十分な理解が必須**

平成30年度 学科試験免除者限定

実地試験突破に向けて技術者としての知識、記述力を習得できる学科・実地対策講座を

特別価格で提供!

平成30年度受験

【学科対策+実地対策】

2級建築施工管理総合講座
(ストレート合格対策)

~~280,000円+税~~ ▶ **230,000円+税**

5万円(税別)
おトク

記述力
強化教材

学科対策講義で実施するテストにおいて、下記の記述解答問題を提供し、実地試験における記述力を養成
演習テスト(全7回 学科講座)、総合答練、模擬試験

講座内容等はカリキュラム強化のため変更となる場合がございます。※税込受講料は、税別受講料に受講申込日時点での消費税率を乗じた金額となります。

平成29年度 1級建築施工管理技術検定

学科試験 当学院基準達成
当年度受講生 合格率

88.2%
全国合格率
39.7%に対して

9割出席・9割宿題提出 当年度受講生397名中、合格者350名
<平成29年7月21日現在>

※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。

平成29年度 1級建築施工管理技術検定

実地試験 当学院基準達成
当年度受講生 合格率

74.2%
全国合格率
33.5%に対して

7割出席・7割宿題提出・実地模擬試験②得点率6割以上
当年度受講生356名中、合格者264名 <平成30年2月2日現在>



総合資格学院



www.shikaku.co.jp

総合資格

検索

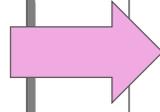
Facebook 「総合資格 fb」で検索!

難化する試験に対応するために

実地試験攻略のポイント

学科試験と実地試験では、ベースとなる知識は同じです

4肢択一問題
暗記した知識でも対応可能



記述式問題
学科で得た知識を応用する

建築施工管理技士試験は、学科試験と実地試験で出題範囲自体は変わりません。実地試験では、知識の応用力や文章表現力が問われるのは勿論ですが、ベースとなる学科試験対策で学んだ建築に関する知識・施工管理に関する知識に乏しい場合、記述式問題に対応できません。単に文章表現を練習するだけでなく、実地試験用に知識を再インストールすることが必要になります。

実地試験攻略のためには、 記述対策にプラスして 学科試験の再学習が効果的

平成29年度の試験で難度が高かった問題5「法規」や、幅広い範囲からの出題になる問題2「用語」や問題4「躯体・仕上げ」では、学科試験で培った施工管理知識に関する完成度の差が、実地試験での得点差に直接繋がります。

学科試験の学習が直接実地試験の解答に繋がる事例

平成29年度2級建築施工管理技士・実地試験より

【問題2】用語（躯体工事・仕上げ工事を問わず、幅広い範囲から出題される対策が難しい設問）

次の建築工事に関する用語のうちから5つ選び、その用語の説明と施工上留意すべき内容を具体的に記述しなさい。

ベンチマーク

[用語の解説]

用語 ベンチマーク
建物の高低の基準・位置の基準で、既存の工作物、新設した杭等動かないものに設ける。

[施工上留意すべき内容]

- ① ベンチマークは、原則として、2箇所以上に設置する。
- ② ベンチマークを設ける位置は、建物の位置決定に都合がよく、見通しのよい位置とし、工事完了後まで残せるような位置がよい。
- ③ ベンチマークは、工事中に移動しないように十分養生して管理する。

※平成29年度当学院テキスト195ページより抜粋

学科テキストで「用語の解説」も「施工上留意すべき内容」も学習できる！

学科問題集で「用語の解説」も「施工上留意すべき内容」も学習できる！

高力ボルト摩擦接合

[用語の解説]

4. 高力ボルト摩擦接合は、高力ボルトで継手部材を締め付け、部材間に生じる摩擦力によって応力を伝達する接合法である。

※平成29年度当学院問題集 No.45（11ページ）より抜粋

[施工上留意すべき内容]

3. 高力ボルト接合の摩擦面は、適切な粗さにして一定のすべり係数を確保する。

※平成29年度当学院問題集 No.43（11ページ）より抜粋

2級建築施工管理技士の受験で得る知識は実務に直結しています。試験の可否ではなく、学習範囲については満点を取れるように取り組みましょう！